



UK Science
& Innovation
Network

UK-Japan
Science &
Innovation
Collaboration

Sources of
Funding
4th Edition

日本語版

Science and Innovation Network Japan

本冊子の利用方法

- 異なるファンドについて幅広く掲載しています。ファンドごとに同じ項目別に情報を載せることで参照しやすいように工夫しています。

皆様のニーズにあったファンドがすぐに見られるよう、各ファンドの詳細の前に表をご用意しましたのでご活用ください。

是非、本冊子に関するフィードバックを駐日大使館科学技術部宛てにお送りください。特に以下のような点についてご指摘いただければ幸いです。

- ・本冊子は皆様のコラボレーションの構築や必要なファンドの情報収集の役に立ちましたか。
- ・本冊子は利用し易かったですでしょうか。何か改善点はありませんか。
- ・本冊子でカバーしていないファンドはありませんでしたか。もしあれば次の改訂版に掲載したいため情報提供のほど宜しくお願い致します。

科学イノベーションネットワーク (SIN) 日本の連絡先

下記までご連絡ください。

Email: science.tokyo@fco.gov.uk or science.osaka@fco.gov.uk

Twitter: [@UKScienceJapan](https://twitter.com/UKScienceJapan)

www: www.gov.uk/world/japan

目次

本冊子の利用方法.....	2
科学イノベーションネットワーク (SIN) 日本の連絡先.....	2
芸術・人文学研究会議 (AHRC) : 国際プレースメントスキーム.....	14
バイオテクノロジー・生物科学研究会議 (BBSRC) : デビッド・フィリップ奨学金.....	14
バイオテクノロジー・生物科学研究会議 (BBSRC) : 国際ワークショップ.....	15
バイオテクノロジー・生物科学研究会議 (BBSRC) : 国際科学交流スキーム.....	15
バイオテクノロジー・生物科学研究会議 (BBSRC) : ジャパン・パートナーリング・アワード	16
工学・自然科学研究会議 (EPSRC) : フェローシップ.....	16
経済・社会研究会議 (ESRC) : オープン・リサーチ・エリア (ORA)	17
経済・社会研究会議 (ESRC) : リサーチ・セミナー・コンペティション	17
科学技術施設会議 (STFC) : フェローシップ.....	18
英国王立協会 : ニュートン国際フェローシップ.....	18
英国王立協会 : 国際交流スキーム.....	19
ブリティッシュ・アカデミー : 国際連携モビリティスキーム (I P M)	19
笹川財団 : グレートブリテン笹川基金・グラント.....	20
笹川財団 : 笹川バターフィールドアワード.....	21
レバハルム財団 : 訪問プロフェッサーシップ.....	21
ウェルカムトラスト : パスファインダーアワード.....	22
ウェルカムトラスト : シーディング・ドラッグ・ディスカバリー.....	22
ウェルカムトラスト : トランスレーションファンド.....	23
ウェルカムトラスト : ポートフォリオアワード.....	23
王立化学協会 : 旅費助成.....	24
王立化学協会 : インタレストグループ旅費助成.....	24

大和日英基金	25
英国王立工学アカデミー：国際共同研究.....	25
文部科学省：トビタテ！留学 JAPAN	27
科学技術振興機構（JST）国際支援制度	27
科学技術振興機構（JST）：戦略的国際科学技術協力推進事業.....	28
日本学術振興会（JSPS）：海外特別研究員事業	29
日本学術振興会（JSPS）：頭脳循環を加速する戦略的国際研究ネットワーク推進プログラム	29
日本学術振興会（JSPS）：研究拠点形成事業.....	30
日本学術振興会（JSPS）：諸外国との二国間交流事業.....	31
理化学研究所：脳科学研究所（BSI）サマースクール.....	32
京都大学：ハクビプロジェクト	32
サントリー財団：リサーチサポート.....	33
武田サイエンス財団：リサーチアシスト.....	33
情報通信研究機構（NICT）：国際交流プログラム・海外研究者個別招へい事業	34
公益財団法人東電記念財団：国際技術交流援助	34
公益財団法人 東電記念財団	35
シオノギ：シオノギサイエンスプログラム	35
ヒューマンフロンティアプログラム推進機構（HFSPPO）：国際ヒューマンフロンティアプロ グラム	37
ヨーロッパ・キャノン財団：リサーチフェローシップ	37
European Commission (EU): Horizon2020	38

序文

英国と日本は非常に活発な研究連携を行っています。日本の国際連携の相手国として英国は四番目の地位を占め、2010年から2014年の間におよそ15,000を超える共著論文を発表してきました。日英の共著論文の引用数は、世界の平均のおよそ3倍であることがわかっています。日英の大学間を行き交う研究者は毎年8,000名を数え、粒子物理のような大型研究施設を用いる分野においても研究連携が活発であることは言うまでもありません。また、EUのHorizon2020のような多国間研究連携に対しても日本はより積極的な参加を行ってきており、それらを通じて日英の研究者が共同で研究を行う機会も増加しています。

日本で活動する私たち英国政府・科学技術イノベーション部は、重点研究領域における日英の研究連携の促進に向けた取組みを行っています。私たちは、気候変動や資源枯渇、高齢化社会や感染症といった地球規模での課題への対応策を探るべく、日英の両国に散らばって存在する研究資源や関連情報の集約への支援活動を行っています。また、英国が世界をリードすることを目指す8大技術（Eight Great Technologies）のような分野を中心に、イノベーションや経済成長を促進するための国際連携構築に向けた支援も行っています。これらの領域において英国は、研究において世界トップクラスであるだけでなく、その商業化においても世界最先端の取り組みを行うことのできる潜在性も秘めています。テクノロジーの発展において国際的な連携先を持つことは、成功を継続し、また両国の強みを活かす上で極めて重要です。

私たちの使命は、日本との連携を通じて、英国の持つ科学研究の質をさらに高め、強化していくことです。英国の研究者は、これまでも既に高い流動性を誇っており、国際的に競争力の高い研究を行ってきました。私たちは、英国の経験を日本と共有し、同時に、日本の科学技術イノベーション政策の成功事例から学びたいと考えています。英国の研究者およびイノベーターが日本の研究開発に対してより容易にアクセスできることを可能にし、新しい研究連携・交流を生み出し、英国に対する高価値な研究開発投資への増加につながるような活動を行うことを、私たちは目指しています。

ここ数年の間に様々な日英連携活動に対して資金提供を行ってきたように、我々は、英国ビジネスイノベーション・スキル省の提供するグローバルパートナーシップ基金や外務省の出資を通じた資金提供を行うことができます。しかし、研究者の皆様にとっては、連携のさらなる発展を目指すために必要な資金源を見つけることはしばしば容易なことではありません。これまでも多くの方に読まれてきましたこの冊子のこのたびの改訂版が、皆さまの行う研究連携をもう一つ上のレベルに高めるための一助となることを願うと同時に、これからの皆さまの研究の一層のご成功を祈念いたします。

英国大使館
科学技術イノベーション部部長
エリザベス・ホグベン



日英協力- はじめに

国際的な研究連携には様々なかたちがあります。若手研究が学会での出会いを契機にその後の研究キャリアを通じてゆっくりと構築されることもあれば、シニア研究者が世界をリードする研究パートナーを探すことから始まる場合もあります。連携を支援するための旅費やネットワークをはじめ、研究者交流、国際フェローシップ、大型研究資金などの幅広い用途に対して利用可能なファンドが多数存在します。本冊子は、様々なファンドについて皆様にわかりやすく知っていただくことを目的に作成されました。日英の研究連携を成功に導くにはどうすればよいのでしょうか。以下に、科学技術部がこれまでに研究助成を行わせて頂いた日英の研究者の方からのアドバイスをご紹介します。

関係構築にむけて

国際連携の構築には時間がかかります。言葉や文化の違いが原因でコミュニケーションがスムーズにとれないこともしばしばありますが、少しの気遣いや注意で解決できるような問題であることが多いようです。大切なことはまず会話を始めることであり、「日本人研究者に対する間違ったステレオタイプを捨てて、まずは話をしてみる」のが最善の策だったと英国の研究者は振り返っています。

研究のパートナーは、お互いの強みや仕事の仕方を理解し、「コミュニケーションをとる中で予想しない複雑なことに直面しても、すぐに諦めないこと」が重要だとしています。また、そのようなコミュニケーション面での問題を解決する上で、例えば海外渡航のための旅費や国際ワークショップ開催のための研究助成は、研究者同士が実際に向き合って対話を行う機会を設けることができるので、非常に有効です。このように、あなたが将来、国際的な共同研究を行う際に役立つファンドが数多く存在することをまずは知っていただきたいと思います。

それでは、海外旅費や国際ワークショップ開催よりもずっと規模の大きなファンドについてはどうでしょうか。これまでも「日英間を行き来するための旅費や訪問、研究交流やワークショップを実施するための助成金は多々あるが、共同で実施する研究プロジェクトを実現するための助成金の確保はむずかしい。」との指摘があるよう、大型のファンドを得るのは簡単ではないことが多いようです。本冊子は、少額のグラントから交流を始め、大型のプロジェクトへと活動を発展させることに適したファンドについても様々なものを掲載しています。「少額ではあるけれども複数の異なるファンドを獲得し、より長期で規模の大きい共同研究を実現した」という成功談も寄せられているので、そうした方法も一つの策かもしれません。

研究連携から得られること

過去に日英の研究連携を行った研究者の方から、連携が失望に終わったという話を聞くことはまずありません。新たな同僚との素晴らしいプロフェッショナルな経験ができる、高品質な研究機器や施設にアクセスできるといった点だけでなく、「研究に対する姿勢や進め方などに相違がほとんどないことが分かった」という指摘もあります。また、「共同研究を始める初期のなるべく早い段階で日本を訪れることが重要であり、そうすることで文化や言語の障壁が往々にして大きな問題ではないことがわかる」との声もあります。さらに、「日英で異なる経験やアプローチを比較することも有意義」であり、共通の研究課題や相互補完的なスキルや専門知識を得られるといった指摘もあります。

日本での長期滞在

日本に住むという経験はエキサイティングなことではありますが、英国から来日する研究者にとっては、英国とは大きく異なる生活環境に対応することについての不安も大きいことでしょう。ある経験者は、「異なる生活スタイルを期待する際に、複雑なことに脅える必要などない」と語っています。最近では、海外から日本に来る研究者に対してのサポートが充実してきています。たとえば、英語で研究サポートをする部署が設けられていたり、海外研究者の研究や生活全般をサポートするスタッフを配備する大学もあります。もちろん、インターネットからたくさんの情報が入手可能です。まずは以下のサイトなどをご覧になってみてはいかがでしょうか。

JSPS 's booklet, "Life in Japan for foreign researchers" -

https://www.jsps.go.jp/english/e-plaza/51_lifeInJapan.html

Japan Student Services Organisation guide to studying in Japan:

http://www.jasso.go.jp/study_j/sgtj_e.html#contents

Nagoya University's Handbook for Foreign Researchers

http://www.iech.provost.nagoya-u.ac.jp/en/forresearcher_handbook.html

ファンド比較表

- 以下の表は、本冊子に掲載されているファンドの比較がし易いように特徴を要約した表になります。
- 日英どちらの国からの応募を想定しているかといった情報も含まれます。

組織	ファンド名	分野	UK	JP	Workshop	Travel/Exchange	Fellowship	Research	Other	締切
芸術・人文学研究会 議 (AHRC)	国際プレースメントスキーム	芸術・人文学	•	•			•			秋・冬
バイオテクノロジー ー・生物科学研究会 議 (BBSRC)	David Phillips ス カラシップ	バイオテクノロ ジー、生物学	•	•			•			7月
BBSRC	国際ワークショ ップ	バイオテクノロ ジー、生物学	•	•	•					9 月・ 11 月
BBSRC	国際科学交流ス キーム	バイオテクノロ ジー、生物学	•	•		•				Con t.
BBSRC	ジャパン・パー トナリング・ア ワード	バイオテクノロ ジー、生物学	•	•		•		•	•	9 月・ 11 月
工学・自然科学研究 会議 (EPSRC)	フェローシップ	エンジニア、物 理学、ヘルスケ ア技術等		•			•			Con t.
経済・社会研究会議 (ESRC)	オープン・リサ ーチ・エリア	ESRC 管轄分野	•	•				•	•	2 x p/a

組織	ファンド名	分野	UK	JP	Workshop	Travel/Exchange	Fellowship	Research	Other	締切
ESRC	リサーチ・セミナー・コンペティション	ESRC 管轄分野	•	•	•					
科学技術施設会議 (STFC)	フェローシップ	天文学、その他	•	•			•			9月
英国王立協会 (Royal Society)	ニュートン国際フェローシップ	生命科学、エンジニアリングを含む物理学		•			•			1月
Royal Society	国際交流スキーム	工学を含む生命・物理学	•			•				3 x p/a
ブリティッシュ・アカデミー (British Academy)	国際連携モビリティスキーム	人文科学、社会科学		•	•	•			•	12月・1月
笹川財団	グレートブリテン笹川基金・グラント	医学、健康、科学、文化、芸術、スポーツ科学、教育他	•	•		•	•	•		3月、9月、12月、2月
笹川財団	笹川バタールワールドアワード	医学の科学的、臨床的、社会・経済的な側面の研究		•		•			•	12月
レバハルム財団	訪問プロフェッ	疾患、ヒトや動	•	•		•		•	•	5

組織	ファンド名	分野	UK	JP	Workshop	Travel/Exchange	Fellowship	Research	Other	締切
	サーシップ	物の生涯にかかわる分野								月・10月
ウェルカムトラスト	パスファインダーアワード	生命科学	•	•				•	•	4 × p/a
ウェルカムトラスト	シーディング・ドラッグ・ディスカバリー	生命科学、早薬の早期研究段階	•	•		•		•		11月
ウェルカムトラスト	トランスレーションファンド	バイオメディカル分野	•	•				•		10月・12月
ウェルカムトラスト	ポートフォリオアワード	ライフサイエンス、物理、数学、工学	•	•				•		
王立化学協会	旅費助成	化学	•	•		•				1月・4月・7月・10月
王立化学協会	インタレストグループ旅費助成	化学	•	•		•				1月・4月

組織	ファンド名	分野	UK	JP	Workshop	Travel/Exchange	Fellowship	Research	Other	締切
										月・7月・10月
大和日英基金	グラント	すべて	•	•		•		•	•	
英国王立工学アカデミー	国際共同研究	工学	•	•		•		•	•	
文部科学省	トビタテ！留学Japan	すべての分野		•		•		•	•	
科学技術振興機構 (JST)	国際支援制度	すべての分野		•				•	•	
JST	戦略的国際科学技術協力推進事業	科学技術全般		•				•	•	
日本学術振興会 (JSPS)	海外特別研究員事業	人文学、社会科学及び自然科学の全分野		•		•		•	•	
JSPS	頭脳循環を加速する戦略的国際研究ネットワーク推進プログラム	人文学、社会科学及び自然科学の全分野		•	•	•		•	•	
JSPS	研究拠点形成事業	人文学、社会科学及び自然科学		•	•	•		•		

組織	ファンド名	分野	UK	JP	Workshop	Travel/Exchange	Fellowship	Research	Other	締切
		の全分野								
JSPS	諸外国との二国 間交流事業	原則、全分野 (対応機関によ っては分野限 定)		•	•	•		•		9月
理化学研究所・脳科 学研究所	サマースクール	神経科学	•	•		•		•		
京都大学	ハクビプロジェ クト	すべての分野	•	•				•	•	3月
サントリー財団	リサーチサポー ト	人文科学、社会 科学	•	•				•		4月
武田サイエンス財団	リサーチアシス ト	生命科学、薬学	•	•				•		
情報通信研究機構 (NICT)	国際交流プログ ラム・海外研究 者個別招へい事 業	情報通信分野		•		•			•	
東電記念財団	国際技術交流援 助	電気・エネルギ ー分野	•	•		•		•		6 月・ 1月
シオノギ	シオノギサイエ ンスプログラム	感染疾患、神経 科学他	•	•				•		1 0月
IHFSP	Human Frontier Science Programme	Biology	•	•			•	•	•	Vari ous

組織	ファンド名	分野	UK	JP	Workshop	Travel/Exchange	Fellowship	Research	Other	締切
Canon Found	Research Fellowships	All	•	•			•			
EU	Horizon 2020	All	•	•				•		Cont

英国の組織による助成制度

芸術・人文学研究会議 (AHRC) : 国際プレースメントスキーム	
概要	<p>国際プレースメントスキーム (IPS) は、世界トップレベルの研究所に所属する若手の研究者、ドクターレベルの研究者、AHRC/ESRC のファンドを受けている博士課程の学生を対象とするフェローシップである。2015 年から IPS フェローシップは以下の機関から応募が可能。</p> <ul style="list-style-type: none"> • Harry Ransom Center, The University of Texas at Austin, USA • Huntington Library, San Marino, California, USA • Library of Congress, Washington D.C., USA • National Institutes for the Humanities, Japan • Shanghai Theatre Academy, China • Smithsonian Institution, Washington D.C., US • Yale Center for British Art, New Haven, Connecticut, USA
研究分野	<ul style="list-style-type: none"> • 芸術・人文学
組織	<ul style="list-style-type: none"> • AHRC、経済・社会研究会議 (ESRC) の応募者に関しては上述機関の図書館、議会からのみ応募が可能
国籍	<ul style="list-style-type: none"> • AHRC または ESRC の博士課程助成金を受けている、あるいは、英国の研究機関に雇われている者であれば国籍は問わない
機関	<ul style="list-style-type: none"> • IPS の 6 つのパートナー先のうちのいずれかとの海外研究フェローシップ
助成額・期間等	<ul style="list-style-type: none"> • 2 か月から 6 か月のフェローシップ、フライトおよびビザ申請費用の £700 ポンドおよび月£1,200 の生活費
応募時期	<ul style="list-style-type: none"> • 毎年秋から冬
ウェブサイト	http://www.ahrc.ac.uk/funding/opportunities/current/internationalplacementscheme/

バイオテクノロジー・生物科学研究会議 (BBSRC) : デビッド・フィリップ奨学金	
概要	<p>将来独立した研究者として活躍できる高い可能性を証明できる科学者を対象とする。</p>
研究分野	<ul style="list-style-type: none"> • バイオテクノロジー、生物科学
機関	<ul style="list-style-type: none"> • BBSRC

国籍	<ul style="list-style-type: none"> • すべての国籍
助成額・期間等	<ul style="list-style-type: none"> • 英国の研究機関にて 5 年間
応募時期	<ul style="list-style-type: none"> • 7 月
ウェブサイト	http://www.bbsrc.ac.uk/funding/fellowships/david-phillips.aspx

バイオテクノロジー・生物科学研究会議 (BBSRC) : 国際ワークショップ

概要	BBSRC の戦略に重要とみなされるトピックについて共同研究を促進すること、ならびに国際共同研究への共通の課題を見出し可能性を引き出すことを目的とする。
研究分野	<ul style="list-style-type: none"> • バイオテクノロジー、生物科学
機関	<ul style="list-style-type: none"> • BBSRC
国籍	<ul style="list-style-type: none"> • すべての国を対象とするが、特に米国、カナダ、ブラジル、EU メンバー諸国、日本、中国、台湾、インド、韓国、オーストラリア、ニュージーランドからの応募を歓迎
助成額・期間等	<ul style="list-style-type: none"> • 年 8 回、各£10,000 を助成。ワークショップは英国内でも国外でも実施可能
応募時期	<ul style="list-style-type: none"> • 毎年 9 月半ばから 11 月半ば • ウェブサイトを参照のこと
ウェブサイト	http://www.bbsrc.ac.uk/funding/internationalfunding/international-workshops/

バイオテクノロジー・生物科学研究会議 (BBSRC) : 国際科学交流スキーム

概要	海外の研究者との新たな連携の構築を通じて BBSRC 資金による研究により国際的視野拡大を手助けする。
研究分野	<ul style="list-style-type: none"> • バイオテクノロジー、生物科学
機関	<ul style="list-style-type: none"> • BBSRC

国籍	<ul style="list-style-type: none"> • BBSRC の助成を受けている者であれば国籍は問わない
助成額・期間等	<ul style="list-style-type: none"> • 短期の旅費：通常最初のコンタクト作りの打ち合わせ • 共同研究を始めるに際しての準備のため海外の相手方へ訪問する際にかかる旅費（たとえば、EU フレームワーク、ヒューマン・フロンティア・サイエンス・プログラムなど） • 長期：海外にて 1 か月までの滞在を通じての研究活動、英国内では利用不可能な施設の利用、BBSRC のプロジェクトや英国の研究チームにとってプラスとなる新たな技術、資料、材料等の獲得 • 助成金は、旅費や生活費に限られ、通常£5,000 を超えない範囲
応募期間	<ul style="list-style-type: none"> • 渡航の少なくとも 6 週間前まで
ウェブサイト	http://www.bbsrc.ac.uk/funding/internationalfunding/isis.aspx

バイオテクノロジー・生物科学研究会議（BBSRC）：ジャパン・パートナーリング・アワード

概要	英国と日本の研究所とのパートナーシップの構築、科学者の交流、特に若手科学者、国外の施設利用。
研究分野	<ul style="list-style-type: none"> • バイオテクノロジー、生物科学
機関	<ul style="list-style-type: none"> • BBSRC
国籍	<ul style="list-style-type: none"> • 現在 BBSRC 研究資金受給者
助成額・期間等	<ul style="list-style-type: none"> • 通例、1 人以上の日本人連携研究者と 4 年間にわたって実施する研究活動に対し、£50,000 を上限として支給 • 旅費、施設訪問、スコーピング・スタディ、ワークショップ、ネットワークワーキング、研究交流、そのほかの共同研究活動に関わる費用への助成
応募時期	<ul style="list-style-type: none"> • 毎年 9 月半ばから 11 月半ばまで • ウェブサイトを参照のこと
ウェブサイト	http://www.bbsrc.ac.uk/funding/internationalfunding/japan/

工学・自然科学研究会議（EPSRC）：フェローシップ

概要	ポスドク、若手、中堅といった 3 段階のことなるステージの研究者を対
----	------------------------------------

	象とする。
研究分野	<ul style="list-style-type: none"> エンジニア、物理学全般。なかでも物理学、エンジニア、情報通信技術、数学、高度なマニユファクチャー、ヘルスケア技術、環境変化に対応するエネルギー、複雑科学、デジタル・エコノミー 助成期間は最大1年
機関	<ul style="list-style-type: none"> EPSRC
国籍	<ul style="list-style-type: none"> 英国の研究機関で実施される研究であれば国籍は問わない
応募時期	<ul style="list-style-type: none"> 通年
ウェブサイト	http://www.epsrc.ac.uk/skills/fellows/

経済・社会研究会議 (ESRC) : オープン・リサーチ・エリア (ORA)

概要	ORA は、フランスの ANR ドイツの DFG と ESRC、オランダの NOW との合意を基に作られた。今年度に限り日本との協働の機会も含まれる。
研究分野	ESRC 管轄分野 (http://www.esrc.ac.uk/funding-and-guidance/applicants/proposal-classifications-ESRC-disciplines.aspx)
機関	<ul style="list-style-type: none"> ESRC
国籍	<ul style="list-style-type: none"> フランス、ドイツ、オランダ、イギリス、日本
助成額・期間等	<ul style="list-style-type: none"> 日本における共同プロジェクトに対する特別な機会を提供 日本と上記欧州諸国との共同研究強化を目的とする 日本学術振興機構 (JSPS) と ORA との共同出資
応募時期	<ul style="list-style-type: none"> 2年毎 今後の JSPS の共同出資については未定
ウェブサイト	http://www.esrc.ac.uk/research/international-research/open-research-area-ora/

経済・社会研究会議 (ESRC) : リサーチ・セミナー・コンペティション

概要	異なる組織からの学術研究者、ポスドク、学術研究者以外の専門家を
----	---------------------------------

	対象に開催するリサーチセミナー開催を企画する英国研究機関に対する助成。セミナーグループのメンバーは定期的に会い情報アイデアを出し合う。
研究分野	• ESRC 管轄分野 (http://www.esrc.ac.uk/funding-and-guidance/applicants/proposal-classifications-ESRC-disciplines.aspx)
機関	• ESRC、JSPS
国籍	• 国際的なスコープ、JSPS の目的に資する
助成額・期間等	• JSPS の規定
ウェブサイト	http://www.esrc.ac.uk/funding/funding-opportunities/research-seminars-competition/

科学技術施設会議 (STFC) : フェローシップ

概要	リーダーシップを有した若手研究者で独立した研究プログラムを確立する可能性を有するものを支援する。
研究分野	• 天文学、ソーラー・惑星科学、素粒子物理学、コスモロジー、核物理学
機関	• STFC
国籍	• STFC が認める英国研究機関でフェローシップを受けている者であれば国籍は問わない
助成額・期間等	• 給与、旅費、生活費のほか研究に必要な費用を申請することも可能 • アーネスト・ラザフォード・フェローシップは上限 5 年まで
応募時期	• 9 月
ウェブサイト	http://www.stfc.ac.uk/funding/fellowships/

英国王立協会 : ニュートン国際フェローシップ

概要	世界中のポストドクステージの若手研究者に 2 年間英国の研究機関での研究を支援する。
研究分野	• 英国王立協会の管轄 : 生命科学およびエンジニアリングを含む物理

	<p>学（ただし臨床研究を除く）</p> <ul style="list-style-type: none"> • ブリティッシュアカデミーの管轄：人文・社会科学
機関	<ul style="list-style-type: none"> • 英国王立協会、医学研究アカデミー、ブリティッシュアカデミー
助成額・期間等	<ul style="list-style-type: none"> • 年間生活費として£24,000、研究費として年間£8,000、引越し費用として£2,000 • 助成期間は2年まで
応募時期	<ul style="list-style-type: none"> • 年2回だが、日本人研究者は1月の応募のみ可能
ウェブサイト	https://royalsociety.org/grants-schemes-awards/grants/newton-international/

英国王立協会：国際交流スキーム	
概要	<p>英国に滞在する科学者で1~2度の渡航を通じて海外のトップ研究者との新たな共同研究を希望する者を支援する。</p>
研究分野	<ul style="list-style-type: none"> • 工学を含む生命・物理学の全ての分野（ただし、臨床医学を除く）
機関	<ul style="list-style-type: none"> • 英国王立協会
国籍	<ul style="list-style-type: none"> • 英国をベースに研究活動をする者と海外をベースの活動する研究者による共同プロジェクト
助成額・期間等	<ul style="list-style-type: none"> • 3か月以内の旅費£3,000まで • 1年以内の複数回のビジットとして最大6千ポンド（研究費最大£1,000ポンドを含む）、2年以内の複数回のビジット費用として最大£12,000（研究費最大£2,000を含む）
応募時期	<ul style="list-style-type: none"> • 年に3回
ウェブサイト	https://royalsociety.org/grants-schemes-awards/grants/international-exchanges/

ブリティッシュ・アカデミー：国際連携モビリティスキーム（IPM）	
概要	<p>IPMスキームは英国と海外とのパートナーシップを構築するサポートであり、新たな連携や革新的イニシアティブにより研究能力を強化することを目的としている。パートナーシップには、双方での訪問や人材交流なども含まれる。</p>

研究分野	人文科学、社会科学
機関	ブリティッシュ・アカデミー
国籍	日本を含む東アジアに拠点のある研究機関に所属する研究者対象 南アジア、東南アジア、アフリカ、ラテンアメリカ、カリブ諸国、中東、ユーラシア圏を拠点とする研究者も可
助成額・期間等	旅費、維持・運営費、ワークショップ、セミナー等の費用を1年から3年支給。
応募時期	12月から1月
ウェブサイト	http://www.britac.ac.uk/funding/guide/intl/International_Partnership_and_Mobility.cfm

笹川財団：グレートブリテン笹川基金・グラント

概要	様々な分野において日英の相互理解と協力を促す活動を資金面で支援する。博士課程の学生を対象に日本でのフィールドワークにかかる旅費もあるが、基本的には、ポスドク、シニアレベルの日英の研究交流や共同研究を対象とする。グラントはどのレベルにおいても授業料を負担することは不可。グラントは、日英両方の研究者を対象とする。研究機関に属さない個人が行うプロジェクトに対する応募は原則として受け付けていない。新規に開始するプロジェクトに対する助成であり、既に終了した、あるいは現在進行中のプロジェクトは対象としない。医学、心理学、社会学の研究領域で動物やヒトの実験をする場合は、倫理面について応募者の所属の機関から承諾を得ていること。
研究分野	<ul style="list-style-type: none"> 医学、健康、科学、技術、環境、芸術、文化、人文科学のほかに、社会問題、日本語、スポーツ科学、教育
機関	<ul style="list-style-type: none"> グレートブリテン笹川財団
国籍	<ul style="list-style-type: none"> 日英国籍
助成額・期間等	<ul style="list-style-type: none"> 国際航空券、宿泊費、国内交通費、生活費などを助成する 研究にかかる材料費、給与、消耗費は対象外 助成額は、平均£1,500-2,000。大型プロジェクトでも£5,000-6,000を超えることはない 医学、健康分野のハイレベルを対象とするバターフィールドアワードについては最大年額£5,000を最大3年間まで助成

応募期間	<ul style="list-style-type: none"> ● ロンドン事務所の締め切りは次の通り：12月15日（3月初旬に結果通知）、3月31日（5月末までに結果通知）、9月15日（11月初旬に結果通知） ● 東京事務所の締め切りは以下の通り：2月28日（4月末までに結果通知）、9月30日（10月末までに結果通知）
ウェブサイト	http://www.gbsf.org.uk

笹川財団：笹川バタースフィールドアワード

概要	日英の専門家の交流と協力を促進することを目的とする。
研究分野	<ul style="list-style-type: none"> ● 医学の科学的、臨床的、社会・経済的な側面についての研究
機関	<ul style="list-style-type: none"> ● 笹川財団
国籍	<ul style="list-style-type: none"> ● 日本・英国
助成額・期間等	<ul style="list-style-type: none"> ● 旅費
応募期間	<ul style="list-style-type: none"> ● 12月
ウェブサイト	http://www.gbsf.org.uk/butterfieldawards/index.html

レバハルム財団：訪問プロフェッサーシップ

概要	海外から優れた研究者を招き知識と技術を学びたいと考えている英国の研究機関を対象としており、双方の機関間の学生の交流も支援する。
研究分野	<ul style="list-style-type: none"> ● 疾患、ヒトや動物の障害、臨床や医学の応用に適用される研究を除くすべての研究分野
機関	<ul style="list-style-type: none"> ● レバハルム財団
国籍	<ul style="list-style-type: none"> ● 日本・英国
助成額・期間等	<ul style="list-style-type: none"> ● 招聘する専門家の状況や提案された活動内容によって異なる ● ホスト機関の該当する研究分野において支給される給与に相当する額 ● 旅費はエコノミークラス

	<ul style="list-style-type: none"> • 妥当であれば、付随するUK内の国内移動、ラボの消耗品や技術支援の費用も含む • 助成期間は3～12ヶ月
応募期間	<ul style="list-style-type: none"> • 毎年5月と10月に締切
ウェブサイト	https://www.leverhulme.ac.uk/funding/grant-schemes/international-academic-fellowships

ウェルカムトラスト：パスファインダーアワード

概要	未開拓分野で初期段階の応用研究開発プロジェクトを支援する。
研究分野	<ul style="list-style-type: none"> • プルーフ・オブ・コンセプトのデータ分析開発を証明するための高度な実験 • IPを有効にするために必要となる実験 • 希少疾患の患者のための製品開発を促す研究 • 公的セクター（大学研究機関あるいは非営利団体を含む）と企業館のパートナーシップを構築するための研究開発
機関	<ul style="list-style-type: none"> • ウェルカムトラスト
国籍	<ul style="list-style-type: none"> • 英国籍以外の応募については、産学連携のパートナーシップがあるか、非営利であることが条件
助成額・期間等	<ul style="list-style-type: none"> • ウェルカムトラストからは£100,000を上限に支給するが、産業界からのマッチング・ファンドがあることが証明されなければならない • 助成期間は最長18ヶ月まで
応募期間	<ul style="list-style-type: none"> • 予算状況にもよるが、通常年に4回の公募
ウェブサイト	http://www.wellcome.ac.uk/Funding/Innovations/Awards/Pathfinder-Awards/index.htm

ウェルカムトラスト：シーディング・ドラッグ・ディスカバリー

概要	創薬、低分子、医学分野の未開拓分野でバイオテクノロジー、製薬企業の技術を基に飛躍的な開発を支援する。
研究分野	<ul style="list-style-type: none"> • 低分子、創薬の早期研究段階、創薬につながるターゲット、新しい化合物、臨床研究に繋げる研究分野
機関	<ul style="list-style-type: none"> • ウェルカムトラスト
国籍	<ul style="list-style-type: none"> • 国籍は問わない。産業界・大学など組織の規模に関係なく応募可

助成額・期間等	<ul style="list-style-type: none"> ● 早期創薬プロジェクトに関しては、分子を特定するための化合物のスクリーニングに最長2年まで支援 ● 分子がすでに特定されている臨床への後期のプロジェクトに関しては、リード最適化、臨床手前の段階から臨床まで最長4年まで支援 ● いずれも進捗状況を見て判断
応募期間	● 次回の締め切りは2015年11月4日
ウェブサイト	http://www.wellcome.ac.uk/Funding/Innovations/Awards/Seeding-Drug-Discovery/index.htm

ウェルカムトラスト：トランスレーションファンド	
概要	パラダイムシフトに繋がる卓越したインパクトが高く、リスクが大きい、複雑なプロジェクトを支援する。
研究分野	● 幅広いバイオメディカル分野、たとえば治療、ワクチン、診断、有効な技術、医療機器や再生医療を含む
機関	● ウェルカムトラスト
国籍	● 英国、海外を拠点とする学術研究機関や産業界からの応募を歓迎する
応募期間	<ul style="list-style-type: none"> ● コンセプトノートを提出する前に、予め担当部署に連絡をとり提案するプロジェクトについて相談しておくことを推奨する ● コンセプトノートの提出期限：2015年10月16日 ● 応募用紙提出期限：2015年12月11日 ● 委員会による選定日：2016年7月
ウェブサイト	http://www.wellcome.ac.uk/Funding/Innovations/Awards/Translation-Fund/index.htm

ウェルカムトラスト：ポートフォリオアワード	
概要	プロジェクトベースのアプローチでは完全な実現が不可能なヘルスケアのインパクトの大きい研究分野、特に、イノベーションを引き起こす可能性が高いポートフォリオアプローチが必要な研究開発。
研究分野	<ul style="list-style-type: none"> ● ヘルスケアに関わる多様な分野の技術開発を対象とする（治療、ワクチン、診断、医療機器、再生医療などを含む） ● ライフサイエンス、物理、数学、工学などにわたる学際的な研究も歓迎

機関	<ul style="list-style-type: none"> • ウェルカムトラスト
国籍	<ul style="list-style-type: none"> • 応募者は、プロジェクトのポートフォリオのマネージメントやリーダーシップに関し明確なアレンジメントを提示しておく必要があり、単独の機関の応募なのか複数機関なのかについても明記する必要がある。
応募期間	<ul style="list-style-type: none"> • 通年
ウェブサイト	http://www.wellcome.ac.uk/Funding/Innovations/Awards/Portfolio-Awards/index.htm

王立化学協会：旅費助成	
概要	王立化学協会のメンバーが、学会やイベントに参加する旅費への助成。研究活動、実務、化学の教育に関する成功事例の共有を実現することを目的とする。
研究分野	<ul style="list-style-type: none"> • 化学研究の初期段階にある応募を特に歓迎
機関	<ul style="list-style-type: none"> • 王立化学協会
国籍	<ul style="list-style-type: none"> • 王立化学協会の会員
助成額・期間等	<ul style="list-style-type: none"> • 同協会が開催する国際科学会合、科学教育に関する国際会合の参加や海外の研究所訪問にかかる旅費
応募期間	<ul style="list-style-type: none"> • 1月1日、4月1日、7月1日、10月1日までにそれぞれ申請書を提出のこと
ウェブサイト	http://www.rsc.org/ScienceAndTechnology/Funding/TravelGrants/

王立化学協会：インタレストグループ旅費助成	
概要	共同研究の促進と専門分野のトレーニングに対する支援。
研究分野	<ul style="list-style-type: none"> • 王立化学協会のインタレストグループが企画する科学的な会合
機関	<ul style="list-style-type: none"> • 王立化学協会
国籍	<ul style="list-style-type: none"> • 国籍は問わない
助成額・期	<ul style="list-style-type: none"> • 通常最大£2,500 まで支給

間等	
応募期間	<ul style="list-style-type: none"> • 1月1日、4月1日、7月1日、10月1日までにそれぞれ申請書を提出のこと
ウェブサイト	http://www.rsc.org/ScienceAndTechnology/Funding/TravelGrants/InterestGroups.asp

大和日英基金	
概要	大和日英基金は、日英の協力の促進を目的に、1988年に設立された英国の非営利団体であり、科学技術交流に対して助成を運営している。
研究分野	<ul style="list-style-type: none"> • すべて
機関	<ul style="list-style-type: none"> • 大和日英基金
国籍	<ul style="list-style-type: none"> • 日本、英国
助成額・期間等	<ul style="list-style-type: none"> • 旅費、生活費、研究費
応募時期	<ul style="list-style-type: none"> • 応募は通年受付可能。スモールグラントについては5月と11月に結果発表。
ウェブサイト	http://www.dajf.org.uk/

英国王立工学アカデミー：国際共同研究	
概要	新技術の開発に取り組む海外の研究機関にエンジニアを外向させる制度。高等教育研究機関、公的機関、その他研究開発機関に属し、英国在住であることが条件。
研究分野	<ul style="list-style-type: none"> • 工学
機関	<ul style="list-style-type: none"> • 英国王立工学アカデミー
国籍	<ul style="list-style-type: none"> • 英国在住者に限る。
助成額・期間等	<ul style="list-style-type: none"> • 旅費、生活費、研究費

応募時期	• ウェブサイト参照
ウェブサイト	http://www.raeng.org.uk/grants-and-prizes/international-research-and-collaborations#sthash.dNufm53K.dpuf

日本の組織による助成制度

文部科学省：トビタテ！留学 JAPAN	
概要	<p>意欲と能力ある日本の若者を対象に、海外留学をはじめとして新しいチャレンジに自ら一歩を踏み出す気運を醸成することを目的としている。</p> <p>この取組は、政府だけでなく、社会全体で海外留学の促進に取り組むことにより大きな効果が得られるものと考え、各分野で活躍されている方々や民間企業からの御支援や御寄附などにより、官民協働で「グローバル人材育成コミュニティ」を形成し、将来世界で活躍できるグローバル人材を育成する。</p>
研究分野	<ul style="list-style-type: none"> • すべての分野
機関	<ul style="list-style-type: none"> • 文部科学省
国籍	<ul style="list-style-type: none"> • 日本
助成額・期間等	<ul style="list-style-type: none"> • ウェブサイトを参照のこと
応募期間	<ul style="list-style-type: none"> • ウェブサイトを参照のこと
ウェブサイト	http://www.mext.go.jp/a_menu/kokusai/tobitate/

科学技術振興機構（JST）国際支援制度	
概要	<p>JSTでは国際的な研究活動を支援する「国際強化支援策」を実施している。研究の進展により国際的な研究活動を希望する研究課題において、活動の必要性、妥当性、有効性等を随時評価し、支援の有無を決定する。活動内容は、（１）国際シンポジウム、（２）国際共同研究、（３）（１）、（２）にあてはまらない研究者の自由なアイデアによる国際的な研究活動になる。</p>

研究分野	<ul style="list-style-type: none"> • すべての分野
機関	<ul style="list-style-type: none"> • JST
国籍	<ul style="list-style-type: none"> • 日本国籍対象者：戦略的創造研究推進事業（さきがけ、CREST、ERATO、ALCA、ACTC）の個人研究者、研究代表者、研究総括、研究開発代表者
助成額・期間等	<ul style="list-style-type: none"> • 国際的な研究活動にかかる経費の支援、及び研究推進に必要なサポート
応募期間	<ul style="list-style-type: none"> • ウェブサイトを参照のこと
ウェブサイト	http://www.jst.go.jp/kisoken/global/index.html

科学技術振興機構 (JST)：戦略的国際科学技術協力推進事業	
概要	文部科学省が設定した国及び分野を対象の JST と相手国の適切な機関が共同して両国の研究交流を推進することを目的としている。
研究分野	<ul style="list-style-type: none"> • 科学技術全般
機関	<ul style="list-style-type: none"> • JST
国籍	<ul style="list-style-type: none"> • 日本
助成額・期間等	<ul style="list-style-type: none"> • 助成期間は 3 年 • 研究交流会の開催費用、共同研究活動、研究者の派遣にかかる費用等
応募期間	<ul style="list-style-type: none"> • ウェブサイトを参照のこと
ウェブサイト	http://www.jst.go.jp/inter/sicp/index.html

日本学術振興会 (JSPS) : 海外特別研究員事業	
概要	学術の将来を担う国際的視野に富む有能な研究者を養成・確保するため、優れた若手研究者を海外に派遣し、特定の大学等研究機関において長期間研究に専念できるよう支援する。
研究分野	<ul style="list-style-type: none"> 人文学、社会科学及び自然科学の全分野
機関	<ul style="list-style-type: none"> JSPS
国籍	<ul style="list-style-type: none"> 申請時において、日本国籍を持つ者、又は我が国に永住を許可されている外国人
助成額・期間等	<ul style="list-style-type: none"> 派遣期間：派遣開始日から2年間 支給経費：(1) 往復航空賃 (2) 滞在費・研究活動費 (派遣国によって異なる。年額約380万円～520万円。)
応募期間	<ul style="list-style-type: none"> 採用年度前年の3月中旬～5月上旬頃の予定 詳細はウェブサイトにある募集要項を参照のこと
ウェブサイト	http://www.jsp.go.jp/j-ab/index.html

日本学術振興会 (JSPS) : 頭脳循環を加速する戦略的国際研究ネットワーク推進プログラム	
概要	大学等研究機関が、海外のトップクラスの研究機関と世界水準の国際共同研究を行うことを通じて、相手側への若手研究者の長期派遣と相手側からの研究者招へいの双方向の人的交流を展開する取組を支援する。
研究分野	<ul style="list-style-type: none"> 人文学、社会科学及び自然科学の全分野
機関	<ul style="list-style-type: none"> JSPS
申請資格	<ul style="list-style-type: none"> 応募が可能な機関は次のとおりで、機関の長を応募者として申請すること -日本国内の大学、大学共同利用機関、短期大学、高等専門学校

	<ul style="list-style-type: none"> -学術研究・研究開発活動を行う独立行政法人 等 ● 詳細はウェブサイトにある公募要領を参照のこと
助成額・期間等	<ul style="list-style-type: none"> ● 支援額：若手研究者派遣旅費・研究者招へい旅費（渡航費及び滞在費）、国際共同研究に必要な研究費を年間総額4千万円以内(但し初年度は2千5百万円以内) ● 支援期間：1～3年間 ● 詳細はウェブサイトにある公募要領を参照のこと
応募期間	<ul style="list-style-type: none"> ● 例年5月頃の予定(公募要領の公表は例年2月頃の予定) ● 詳細はウェブサイトにある公募要領を参照し、最新の情報を確認のこと
ウェブサイト	http://www.jsps.go.jp/j-zunoujuncan3/

日本学術振興会（JSPS）：研究拠点形成事業	
概要	世界的水準の研究交流拠点の構築を目的として、世界各国の研究機関との協力関係により実施する共同研究、セミナー等の活動を支援する。
研究分野	● すべての分野
機関	● JSPS
申請資格	● 日本側の研究機関に所属する研究者をコーディネーターとして申請（国籍は問わないが、コーディネーターの要件はウェブサイトを参照のこと）
助成額・期間等	<ul style="list-style-type: none"> ● 助成期間：最長5年間 ● 外国旅費、国内旅費等1,800万円以内/年度（日本の研究機関への支給経費。英国側研究機関はマッチングファンドの獲得が必要）
応募期間	● ウェブサイトを参照のこと
ウェブサイト	http://www.jsps.go.jp/j-c2c/index.html

日本学術振興会 (JSPS) : 諸外国との二国間交流事業	
概要	<p>個々の研究者交流を発展させた二国間の研究チームの持続的ネットワーク形成を支援する。事業形態は下記の2通り。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○諸外国の対応機関との合意に基づく共同研究・セミナー ○オープンパートナーシップ共同研究・セミナー (我が国と国交のある全ての国 (台湾及びパレスチナについては、これに準じて取り扱う) を対象) <p>※英国については、オープンパートナーシップにて支援 (平成 27 年 11 月現在)</p>
研究分野	<ul style="list-style-type: none"> ● 原則、全分野 (対応機関によっては分野限定) ● 詳細はウェブサイトにある募集要項を参照とのこと
機関	<ul style="list-style-type: none"> ● JSPS
申請資格	<ul style="list-style-type: none"> ● 申請時において、以下の機関に所属し、原則として常勤の研究者又は常勤として位置づけられている研究者。ただし、所属機関において、研究環境の整備等を含め、責任を持って事業を遂行できると判断する場合には、常勤でない研究者も可能。 -日本国内の大学、大学共同利用機関、短期大学、高等専門学校 -学術研究・研究開発活動を行う独立行政法人 等 ● 詳細はウェブサイトにある募集要項を参照のこと
助成額・期間等	<ul style="list-style-type: none"> ● 共同研究、セミナーのための経費を支援する (海外渡航含む) ● 支援金額※ <ul style="list-style-type: none"> 共同研究：100～300万円以内/年度 セミナー：120～250万円以内 ● 支援期間※ <ul style="list-style-type: none"> 共同研究：1～3年以内 セミナー：1週間以内 ● ※支援金額・期間は対応機関によって異なる。 ● 詳細はウェブサイトにある募集要項を参照のこと
応募期間	<ul style="list-style-type: none"> ● 例年 9 月頃の予定 (募集要項の公表は例年 6 月頃の予定) ● 詳細はウェブサイトにある募集要項を参照のこと
ウェブサイト	http://www.jsps.go.jp/j-bilat/bilat.html

理化学研究所：脳科学研究所（BSI）サマースクール	
概要	若手脳科学研究者の教育、神経科学研究者の国際コミュニティ参画などの支援。
研究分野	<ul style="list-style-type: none"> • 神経科学
機関	<ul style="list-style-type: none"> • RIKEN 脳科学研究所（BSI）
助成額・期間等	<ul style="list-style-type: none"> • 6月から8月
応募期間	<ul style="list-style-type: none"> • 2月
ウェブサイト	http://www.brain.riken.jp/jp/summer/

京都大学：ハクビプロジェクト	
概要	才能のある若手研究者を支援する。毎年20名募集。
研究分野	<ul style="list-style-type: none"> • すべての分野
機関	<ul style="list-style-type: none"> • 京都大学
国籍	<ul style="list-style-type: none"> • すべての国籍
助成額・期間等	<ul style="list-style-type: none"> • 研究費および給与を5年間支給
応募期間	<ul style="list-style-type: none"> • 3月
ウェブサイト	http://www.hakubi.kyoto-u.ac.jp/jpn/jpn.html

サントリー財団：リサーチサポート	
概要	人文科学、社会科学（経済、公共政策、文化など）に国際研究や学際的研究に対する支援。
研究分野	<ul style="list-style-type: none"> • 社会科学、人文科学
機関	<ul style="list-style-type: none"> • サントリー財団
国籍	<ul style="list-style-type: none"> • 日本の研究所を拠点としていること
応募期間	<ul style="list-style-type: none"> • 4月
ウェブサイト	http://www.suntory.co.jp/sfnd/research/index.html

武田サイエンス財団：リサーチアシスト	
概要	日本の研究所をベースとしている研究者を支援。
研究分野	<ul style="list-style-type: none"> • 生命科学、薬学。
機関	<ul style="list-style-type: none"> • 武田サイエンス財団
国籍	<ul style="list-style-type: none"> • 日本の研究所を拠点としていること
助成額・期間等	<ul style="list-style-type: none"> • ウェブサイトを参照のこと
応募期間	<ul style="list-style-type: none"> • ウェブサイトを参照のこと
ウェブサイト	http://www.takeda-sci.or.jp/assist/index.html

情報通信研究機構 (NICT) : 国際交流プログラム・海外研究者個別招へい事業	
概要	海外からの研究者の招聘事業。海外の研究者を受け入れて情報通信分野の研究開発を行うこと、又はこれに関連する学術的な啓発活動を行うことを希望する国内の機関を支援する。
研究分野	<ul style="list-style-type: none"> 情報通信分野
機関	<ul style="list-style-type: none"> NICT
国籍	<ul style="list-style-type: none"> 日本
助成額・期間等	<ul style="list-style-type: none"> 渡航費、滞在費等の招へいに必要な経費を支給
応募期間	<ul style="list-style-type: none"> ウェブサイトを参照のこと
ウェブサイト	http://www.nict.go.jp/int_affairs/int/int_prog.html

公益財団法人東電記念財団 : 国際技術交流援助	
概要	電気・エネルギー関連の産業・生活に関わる技術の向上を目的として、様々なかたちでの国際技術交流を支援する。
研究分野	<ul style="list-style-type: none"> 電気・エネルギー分野
機関	<ul style="list-style-type: none"> 東電記念財団
国籍	<ul style="list-style-type: none"> 日本国内の大学・大学院あるいはそれと同等の研究機関に所属する研究者、もしくは応募時点で大学院生であることが条件
助成額・期間等	<ul style="list-style-type: none"> ウェブサイトを参照のこと
応募期間	<ul style="list-style-type: none"> 6月～1月

ウェブサイト	http://www.tmf-zaidan.or.jp/application.html#application03
--------	---

公益財団法人 東電記念財団	
概要	東電記念財団は、日本の産業の発展と国民生活の向上に寄与することを目的として、電気・エネルギーに関わる試験研究への助成、およびこの分野の国際技術交流援助、また、同分野で意欲を持って研究に取り組む大学院学生への奨学金給付を実施している。
研究分野	<ul style="list-style-type: none"> 電気・エネルギー
機関	<ul style="list-style-type: none"> 公益財団法人 東電記念財団
国籍	<ul style="list-style-type: none"> すべて、ただし応募する研究者は日本国内の大学あるいは研究所に所属していること（学生不可）
助成額・期間等	<ul style="list-style-type: none"> ウェブサイトを参照のこと
応募時期	<ul style="list-style-type: none"> ウェブサイトを参照のこと
ウェブサイト	http://www.tmf-zaidan.or.jp/outline.html

シオノギ：シオノギサイエンスプログラム	
概要	シオノギ株式会社は1879年創立の日本を代表する製薬企業であり、優れた研究のシーズを特定するために努力を続けている。2007年にまず国内で産学連携プログラムを立ち上げ、2011年より海外の研究機関との連携を目指し同プログラムが始まった。まだ解明されていない様々な疾患に対応すべくイノベーティブな医薬品の開発を目指している。
研究分野	<ul style="list-style-type: none"> ペイン CNS や感染疾患

機関	<ul style="list-style-type: none"> シオノギ株式会社
国籍	<ul style="list-style-type: none"> オーストラリア、ベルギー、デンマーク、フランス、ドイツ、アイルランド、イタリア、ルクセンブルク、ニュージーランド、オランダ、英国、日本
助成額・期間等	<ul style="list-style-type: none"> 最大5年 1,500万円まで
応募時期	<ul style="list-style-type: none"> 10月1日から30日
ウェブサイト	http://www.shionogi.co.jp/ssp/jp/

EU および国際ナショナルレベルで運営されている助成金制度

ヒューマンフロンティアプログラム推進機構 (HFSP) : 国際ヒューマンフロンティアプログラム	
概要	ヒューマン・フロンティア・サイエンス・プログラム (HFSP) は、1987 年のヴェネチア・サミットにおいて、中曽根首相 (当時) より提唱した国際プロジェクトであり、生体が持つ複雑なメカニズムの解明を中心とする基礎研究を国際的に共同して推進し、その成果を広く人類全体の利益に供することを目的としている。目的別に、科学プログラム、リサーチグラント、ポスドク・フェローシップ、職業開発アワードなどの事業がある。
研究分野	<ul style="list-style-type: none"> • 生命科学の学際的な研究分野 • 具体的には、生物学者が物理、数学、科学、コンピューター科学、工学の専門家と連携する分野
機関	<ul style="list-style-type: none"> • HFSP
国籍	<ul style="list-style-type: none"> • 日英と HFSP メンバー国
助成額・期間等	<ul style="list-style-type: none"> • ウェブサイトを参照のこと
応募期間	<ul style="list-style-type: none"> • ウェブサイトを参照のこと
ウェブサイト	http://jhfsp.jsf.or.jp/about-us/index.html

ヨーロッパ・キャノン財団 : リサーチフェローシップ	
概要	優れた日本および欧州の研究者 15 人にフェローシップを与えている。
研究分野	<ul style="list-style-type: none"> • すべての分野
機関	<ul style="list-style-type: none"> • ヨーロッパ・キャノン財団

国籍	<ul style="list-style-type: none"> • 現職のポジションは問わないが、応募資格として博士、最低でも修士号を有する者
助成額・期間等	<ul style="list-style-type: none"> • 助成期間は、3か月から最大1年
応募期間	<ul style="list-style-type: none"> • ウェブサイト参照のこと
ウェブサイト	http://www.canonfoundation.org/programmes_1_fellow.html

European Commission (EU): Horizon2020	
概要	<p>Horizon2020とは、7年にわたる総額800億ユーロ近くの資金助成制度で、EUのこれまでの研究・技術開発枠組み計画の中で最大規模を誇る。2014年のEU研究予算は、助成資金と行政支出を含めて約93億ユーロ、2015年には約99億円に上る。2015年の最終的な助成額は、2015年次予算によって決まる。</p>
研究分野	<ul style="list-style-type: none"> • 2014年、2015年の公募には、革新的な中小企業を支援する新たな制度も含まれており、2年で約5億ユーロの予算が計上されている • ジェンダーに関連した課題も多くのプロジェクトに含まれることが予想されるほか、社会における科学の役割について議論をさらに活性化させる助成も含まれている
機関	<ul style="list-style-type: none"> • EU
国籍	<ul style="list-style-type: none"> • すべての国籍
助成額・期間等	<ul style="list-style-type: none"> • 共同研究、ネットワーキングプロジェクト、交通費、国際協力活動に関わる費用
ウェブサイト	http://ec.europa.eu/programmes/horizon2020/en/

謝辞

本冊子作成にあたり、情報提供をいただき、日英科学技術イノベーションをサポートしてくださっている日英の機関に感謝申し上げます。

本冊子冒頭はじめにコメントや見識をくださった下記の方々に御礼申し上げます。

- Dr Rosanna Smith (Institute for Risk and Disaster Reduction (IRDR), University College London)
- Dr Dmitry Nerukh, Systems Analytics Research Institute, Department of Mathematics, Aston University
- Dr Fumihiko Imamura, Professor of Tsunami Engineering, International Research Institute of Disaster Science (IRIDeS), Tohoku University
- Dr Adrian Moore, Brain Science Institute, RIKEN

